

施策分析シート（令和4年度）

No1

施策名	人権・平和の普及啓発	施策No	10-06	部課名	総務企画部総務企画課
				課長名	中野 内線 2110

関連部課名	
-------	--

行政評価	分野	V	文化創造都市
事業体系	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成

目的  
 人権の尊さ、平和の大切さを区民に広く普及啓発を図ることにより、平和を愛し、思いやりと互助の精神にあふれた温かい地域社会の形成を図る。  
 性別等に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現を目指す。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		元年度	2年度	3年度	
①	文化的寛容性	2.68	—	2.66	お住まいの地域に、文化や言語が異なる人々への思いやりや寛容さがあると感じますか？
②					
③					
④					

  

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		元年度	2年度	3年度	4年度見込み	目標値(8年度)	
①	人権・平和事業参加人数（人）	1,534	194	1,228	985	1,577	参加人数
②	男女平等社会形成のための講座・講演会参加人数（人）	1,570	500	44,735	1,905	1,600	参加人数
③							
④							
⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	2年度	3年度	差額	行政収入	勘定科目	2年度	3年度	差額
	給与関係費	43,946	42,545	▲ 1,401		地方税等	0	0	0
物件費	32,892	35,591	▲ 2,699	国庫支出金	0	0	0		
維持補修費	17,852	15,614	▲ 2,238	都支出金	130	515	385		
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0		
補助費等	3,537	3,296	▲ 241	使用料及び手数料	1,365	3,476	2,111		
減価償却費	37,576	38,149	573	その他	1,145	186	▲ 959		
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	2,640	4,177	1,537		
賞与・退職給与引当金繰入額	5,296	6,766	1,470	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 139,365	▲ 137,784	1,581		
その他行政費用	906	0	▲ 906	金融収支差額(d)	0	▲ 4	▲ 4		
行政費用合計(b)	142,005	141,961	▲ 44	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 139,365	▲ 137,788	1,577		
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 139,365	▲ 137,788	1,577		

貸借対照表	勘定科目	2年度	3年度	差額	流動負債	勘定科目	2年度	3年度	差額
	収入未済	0	0	0		還付未済金	1,793	1,575	▲ 218
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0		
その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	1,793	1,575	▲ 218		
有形固定資産	2,119,188	2,081,039	▲ 38,149	その他の流動負債	0	0	0		
土地	1,721,996	1,721,996	0	固定負債	25,288	30,505	5,217		
建物	1,400,259	1,400,259	0	特別区債	12,000	12,000	0		
建物減価償却累計額	▲ 1,003,066	▲ 1,041,215	▲ 38,149	退職給与引当金	13,288	18,505	5,217		
工作物等	17,512	17,512	0	その他の固定負債	0	0	0		
工作物等減価償却累計額	▲ 17,512	▲ 17,512	0	負債の部合計	27,081	32,080	4,999		
無形固定資産	0	0	0	正味財産	2,092,107	2,048,959	▲ 43,148		
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	2,092,107	2,048,959	▲ 43,148		
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	2,119,188	2,081,039	▲ 38,149		
資産の部合計	2,119,188	2,081,039	▲ 38,149						

財務諸表に関する特措事項等

○物件費の増は、新型コロナウイルス感染拡大のため令和2年度に中止した講演会等啓発事業を再開したことによる。  
 ○維持補修費の減は、令和2年度の男女平等推進センター（以下「アクト21」という。）ホール空調設備改修工事及び荒川さつき会館工業用水切替工事が完了し、家屋等修繕費及び工事請負費の額が減少したことによる。  
 ○その他行政費用の減は、荒川さつき会館パーゴラ撤去工事とアクト21加圧給水ポンプ取替工事が完了による。  
 ○行政収入（その他）の減は、荒川さつき会館工業用水切替工事が完了して都からの工事清算金収入がなくなったことによる。

## 施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○近年の人権課題は、「児童虐待」「高齢者虐待」「配偶者等暴力（DV）」「障害者差別」「同和問題（部落差別）」「ヘイトスピーチ」「LGBTQ」「ハラスメント」等、多様化・複雑化している。</p> <p>○男女共同参画について、男女共同参画社会基本法（平成16年6月）や女性活躍推進法（平成27年9月）に基づく推進のほか、令和3年5月に「誰もが自分らしく生きることができる社会の実現を目指す実行プラン～荒川区男女共同参画社会推進計画（第5次）」を策定し、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現に向け、より一層の推進を図っている。</p> <p>○日々の平穏な暮らしは、平和というかけがいのない財産で成り立っているとの認識の下、様々な機会を捉えて平和の大切さを区民に身近に感じてもらう啓発事業を実施している。</p>
課題	<p>○人権課題の多様化・複雑化に加え、インターネットにおける心ない書き込みやいじめ等、日常生活の身近な場面で人権侵害が起り得る状況にあり、一層の人権意識の向上や普及啓発を図る必要がある。</p> <p>○男女共同参画については、人々の意識や行動、社会の習慣・慣行の中に依然として性別に基づく固定的な役割分担意識が根強く残っている状況にあり、それらの改善・解消に向けて普及啓発を図る必要がある。また、多様な性の在り方に対する理解についても、広めていく必要がある。</p> <p>○国際情勢が厳しさを増す中で、基礎自治体として平和の大切さをしっかり次代に引き継いでいく必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○これまで以上に、多様性や一人ひとりの個性を認め、理解し合える地域社会の構築を目指し、様々な機会を捉えて人権意識の向上に努めていく。また、人権課題の多様化等の状況を踏まえ、「荒川区人権推進指針（平成13年4月）」について、見直しの作業を進めていく。</p> <p>○「誰もが自分らしく生きることができる社会の実現を目指す実行プラン～荒川区男女共同参画社会推進計画（第5次）～（令和3年5月）」に定める目標値の達成に向けて、区におけるあらゆる分野において男女共同参画の推進を図っていく。</p> <p>○平和の大切さについて、引き続き区民に身近に感じてもらえる取組を継続して実施する。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
4年度	5年度	
推進	推進	人権意識や平和の願い、男女共同参画の推進について、広く区民に普及啓発を図っていく。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		2年度	3年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
荒川さつき会館管理運営事業	01-01-26	43,689	54,553	29,865	32,480	継続	継続	地域住民の交流促進及び人権施策推進の施設として、引き続き適切な管理・運営を行う。
人権・平和普及啓発事業	01-01-27	14,306	16,324	1,536	1,874	推進	推進	人権の尊さや平和の大切さについて区民への普及啓発を推進していく。
男女平等推進センター管理運営事業	01-01-30	73,281	59,553	37,450	24,613	継続	継続	男女共同参画社会の実現をめざす拠点施設として、更なる効率的運営を行う。
男女共同参画啓発・相談事業	01-01-32	10,728	11,530	5,831	6,428	推進	推進	令和3年度に策定した「荒川区男女共同参画社会推進計画」（第5次）に基づき、区政の各分野において更に男女共同参画の取組を推進していく。
合計		142,004	141,960	74,682	65,395			

